

Title	外国語教育の新しい局面(8) : Facets of Foreign Language Teaching Today はしがき
Author(s)	力武, 京子
Citation	言語文化共同研究プロジェクト. 2018, 2017
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/69979">https://hdl.handle.net/11094/69979</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## はしがき

「言語文化共同研究プロジェクト 2017」の報告書である小冊子「外国語教育の新しい局面(8)」をお届け致します。これは大阪大学大学院言語文化研究科において中国語教育を担当している教員1名、ドイツ語教育を担当している教員1名、そして博士後期課程在学の学生2名による外国語教育をめぐるさまざまな方法や問題に関する共同研究の報告です。私たちは共同研究を通じていかにして目的にあった適切な授業が行えるか調査し、実験し、そして話し合っています。またこれまでになかった新しい方法についても論じています。

4名の執筆陣に共通するテーマは「外国語教育の新しい教育法、新しい取り組み方」です。本誌では、中国人教員夏嵐（シャ・ラン）は、演劇を1年生の授業で演ずる取り組みについて、ドイツ語担当の力武京子はこれまでのICTを利用した授業をアクティブ・ラーニングとしてさらに発展させる試みについて述べています。

また、博士後期課程在学学生2名にも執筆をお願いしました。呉雨倩（ゴ・ウセイ）は新聞記事の情報の批判的読み解き能力の育成をいかに授業に取り入れるかについて研究し、王健は観光日本語教育について実際に観光ガイドとしてインターンシップを行った学生と日本人旅行客が陥った「沈黙」という落とし穴について実情と解決法を述べています。

本誌が外国語教育および研究において僅かなりとも参考になれば誠に幸いに存じます。

2018年5月  
(文責：力武京子)